

「話すこと [発表]」の指導における簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動 (小学校)

1 単元名

NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit6 「Let's think about our food.」

2 内容のまとめ

小学校第6学年 「話すこと [発表]」イ

3 単元の目標

世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて聞いたり、自分の考えや気持ちなどを話したりすることができる。

4 単元の評価規準〔話すこと〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 食べたものやそれらの産地を表す語句や I ate ~. I usually eat ~. ~ is from ~. ~ is in the ~ group. の表現について理解している。</p> <p>〔技能〕 食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ~. などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、自分の考えや気持ちなどを相手に応じて話している。</p>	<p>世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、自分の考えや気持ちなどを相手に応じて話そうとしている。</p>

5 指導と評価の計画 (6時間)

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい (■)、主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見直しをもつ。</p> <p>■食べたものやそれらの産地についてのやり取りの内容を聞いたり、言ったりする。</p> <p>①食べたものやそれらの産地について写真等を見せながら話された内容から、単元の見直しをもつ。</p> <p>②教科書に示された写真について説明を聞き、気付いたことを発表するとともに、食べたものやそれらの産地の言い方を知る。</p>			○	
2	<p>■食べたものやそれらの産地についてのやり取りを聞き、話の内容を理解する。</p> <p>①指導者のモデルのスピーチとそれに関連した写真を見ることで、食べ物やそれらの産地、栄養素のグループについての表現を思い出す。</p> <p>②モデル文を聞いて、声に出して読む。</p>	○			
3	<p>■自分の食生活について、既習の語句や表現をもとに伝える。</p> <p>①導入においてHLTとALTのモデル会話を見て、本時のゴールの見直しをもつ。</p> <p>②食材とその産地についてペアで質問し合う。</p>	○	○		
4	<p>■自分の食生活について、既習の語句や表現を活用し、相手に紹介する。</p> <p>①導入においてHLTとALTのモデル会話を見て、本時のゴールの見直しをもつ。</p> <p>②食材とその栄養素のグループについて、ゲームを通して繰り返し表現する。</p>	○	○		行動観察 ワークシート
5	<p>■「オリジナルカレーメモ」を作成し、相手に紹介する。</p> <p>①指導者のスピーチを見ることで、本時のゴールの見直しをもつ。</p> <p>②自分の考えが伝わるように練習する。</p>		○	○	行動観察 ワークシート
6	<p>■「オリジナルカレー」の食材、産地、栄養素を伝え合う。</p> <p>①導入においてHLTとALTのモデル会話を見て、本時のゴールの見直しをもつ。</p> <p>②店員役と客役に分かれることにより、食材とその産地、栄養素などを伝え合う。</p>		○	○	

【POINT】

一方的なコミュニケーションにならないよう、相手の話にリアクションをとったり、教え合ったりするなど工夫します。教師が基本的な表現を使ってモデルを示しながら、児童と確認することが大切です。



食材とその栄養素について、自分の考えを伝えたり簡単な質問に答えたりしています。やり取りの中で、本時で扱う表現を繰り返し活用することが大切です。



※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「聞くこと」など）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることも考えられます。

6 評価例

「話すこと [発表]」(知識・技能)(思考・判断・表現)

評価場面	活動内容：食材とその産地について、調べた内容をまとめ、発表する。	
評価方法	発表内容の分析、行動観察	
児童の発表例 及び評価例	【児童の発表例】	【評価例】
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><u>児童 A</u> I like curry and rice. I usually eat beef curry at home. The beef is from Australia. Beef is the red group.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><u>児童 B</u> I eat curry and rice last night. Beef is the red group. I like beef. The beef is in Australia.</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>児童 A 〔知・技〕・・・ a 正しい表現で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・ a 食材とその産地などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、調べた内容を伝えている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童 B 〔知・技〕・・・ b 相手に伝えることができているが表現に誤りが見られる。 〔思・判・表〕・・・ b 食材とその産地などについて、まとまり内容ではないが、調べた内容を伝えている。</p> </div>

〔実践してみたの成果と課題〕

【成果】

- ・発表の様子を音声や動画として記録に残すことにより、児童の学習状況を踏まえ、指導の改善を図ることができた。
- ・児童が記録した音声を自ら聞くことにより、自分の発音や既習の表現の正確性、相手とのやり取りについて振り返り、次の活動に生かすことができた。

【課題】

- ・児童が撮ることに集中してしまうなど、記録することが目的になってしまうことから、記録する目的を児童と共有するとともに、単元全体を通して計画的に位置付ける必要がある。